



NEXTまきのはらの各グループでの検討状況を発表

牧之原市に住んでいて
良かったと思えるまちに



2月議会定例会初日の2月26日に施政本針を発表する市長

会に誇っていきます。
「学び」から始まる
まちづくり
この計画策定のキーワードは「協働」です。全てが「学び」からスタートします。「学び」「気づき」「共感」「支えあう」、このことが必ず、牧之原市のまちづくりを確かなものとしていくはず。こうした協働による取り組みは、行政が市民に結論を委ねているわけではなく、NEXTまきのはらの皆さんに、まず学んでいただき、討議していただき、その結果を行政が検討して、また提案するといったキャッチボールを繰り返しながら進めています。参加者からは、「私たちが将来のまちづくりに参加できるように、責任感と充実感を感じる」との声をいただきました。

共に支え合い、安心して
思いが実現できる社会を
市民との協働のもとで、活力を高め、若者が魅力を感じる住環境をつくること、そして、共に支え合い、安心し

平成26年度 市の施政方針・予算の重点・主要事業

安全安心な暮らしと地域の活力

本年度のまちづくりの方針や予算、主な事業についてお知らせします。
問い合わせ ▶ 施政方針：企画課 源間 ☎0040 ▶ 予算・主要事業：財政課 藤永 ☎0054

平成26年度 施政方針

市議会2月定例会初日の2月26日に、西原市長が、平成26年度のまちづくりの方針を述べました。

市民と共に第二次総合計画を策定

牧之原市では現在、平成27年度から始まる第二次総合計画の策定を進めています。昨年の夏から、16歳以上を対象とした市民意識調査や、170団体500人以上に上る様々な団体の代表の皆さんによる意見交換会、市の職員による市政将来プロジェクトなどの検討を行った上で、「市民討議資料」を作り上げました。それを基に、計画の検討チームである市民会議「NEXTまきのはら」が結成され、現在、計画案の作成作業が進めています。NEXTまきのはらの平均年齢は40歳、女性のメンバーが4割の構成であり、こうしたメンバーの方々により「これからも牧之原市に住み続け

若者たちを支援する
将来計画について

人口に占める高齢者の割合は、急増しています。増え続ける医療費や介護費など、高齢者のための施策や課題は山積しています。その解決、対策や負担を担っていくのは、これからの世代の皆さんです。私は今年、選挙を迎えました。私たちの世代の役割は、「若者たちを支援すること」だと思います。高齢化社会を支え、さらに未来を担う皆さんが素晴らしい将来計画を提案してくれることを、大いに期待しております。この提案に基づき、この秋には総合計画の基本構想を議

て思いが実現できる地域社会をつくること、総合計画の基本であると考えます。
(中略)

「牧之原市に住んで良かった」と、誰もが思えるまちづくりを目指して、全力で議会の皆さん、市民の皆さんと共に市政経営に取り組んでいきます。

*今回掲載した施政方針は、施政方針全文から一部を抜粋して掲載したものです。施政方針には、その他、各分野の取り組み方針などを掲載しています。
施政方針の全文は、榛原・相良庁舎の情報公開コーナーや、市ホームページからご覧いただけます。
ホームページでの検索方法
市ホームページの検索欄で「平成26年度 施政方針」をお知らせします」と入力し、検索する。
HP <http://www.city.maki-nohara.shizuoka.jp/bg/shicho/ent/981.html>



グループに分かれて意見をまとめる



若者や女性のメンバーも多く参加



多くの意見を含んだ「市民討議資料」を基に検討